

観光

① 分野の定義

◀ 現行計画（令和4～8年度）の定義

観光とは、余暇時間の中で、「触れ合い」「学び」「遊ぶ」ことなどを目的とするもので、時代とともに多様化しています。観光は、旅先の風景や観光スポット等を見るだけでなく、教育やスポーツ、健康等のテーマ性の強い体験型の新しい旅行も、観光の一つのかたちと考えます。本区における観光振興は、自然や社会環境と共生すること等に留意し、様々な観光のかたちを通じてだれもが気軽に楽しみ、区民と来訪者の交流を生み出し、地域に活力を与え、まちに対する愛着や誇りを醸成することをねらいとします。

▷ 定義の再確認・検討の視点

国内各地でオーバー・ツーリズムが問題となる中、文京区らしい「サステナブル・ツーリズム」のあり方を具体的に示す必要があります。来訪者との交流については、文京区の特徴を踏まえた交流テーマの設定により、文京区の観光像をより具体的に提示できます。

② 現状と課題

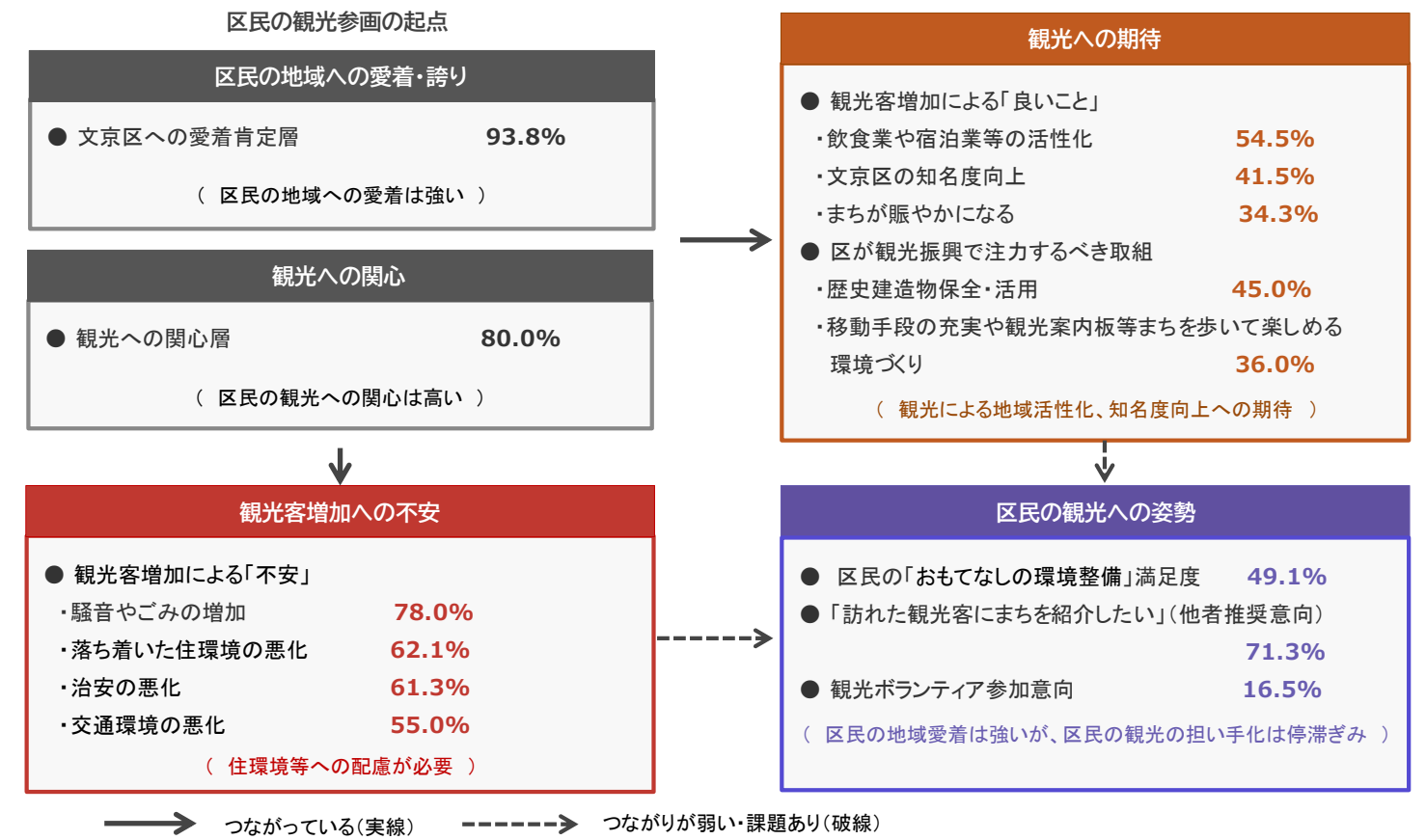
②-1 現行計画（R4～R8）指標の達成状況

| 基本方針 | 指標名 | R元年度の実績値 | R7年度の実績値 | 現行計画の目標値 |
|------|-----------------------|----------|----------|----------|
| ① | 文京区の他者推奨意向 | 84.1% | 71.3% | 85.0% |
| ④ | おもてなし環境整備への満足度（区民） | 38.9% | 49.1% | 50.0% |
| ④ | おもてなし環境整備への満足度（事業参加者） | 76.0% | 68.0% | 81.0% |

②-2 現行計画期間（R4～R8）の主な成果

- ・文京区観光協会ホームページの新規ユーザーがR7年度192,631件（R元年度44,115件）となり、目標値（50,000件）を大幅に上回った。
- ・観光ガイドブック等の多言語化によるインフラ整備が進んでいる。
- ・観光ガイドボランティアによる多彩なガイドツアーが行われ、文京区の魅力発信が進められている。
- ・「おもてなし環境整備」への区民満足度（49.1%、前回R元年度調査比+10.2pt）は、ほぼ目標水準に達した。

②-3 現状と課題の構造



区民の文京区への愛着は強いが、「文京区のまちを他者に紹介したい」（他者推奨意向）につながっていない。観光等の来訪者増加に対する期待の一方で、不安によるネガティブな意識が課題。

②-4 課題のまとめ

① 地域資源を活かした体験プログラムの充実と区内での回遊性の強化

実態調査の結果から歴史的建造物や街並みの保全、区内移動手段の充実や観光案内板等、まちを歩いて楽しめる環境づくりで、新たな魅力の発見や活用を求める声が多い中、それらを整備し、区内周遊につなげる設計の強化が必要である。

② 観光振興と住環境保全の両立

観光客の増加は、様々な面の活性化等でまちが賑やかになるなどの期待の一方で、住環境の悪化など不安の声が高まる傾向にある。文京区の価値を高めるサステナブル・ツーリズムのあり方と、その実現方法が論点となる。

他に、「区民の地域愛着が、『文の京』を観光客に紹介したい思いへとつながるための取組」といった課題が挙げられます。